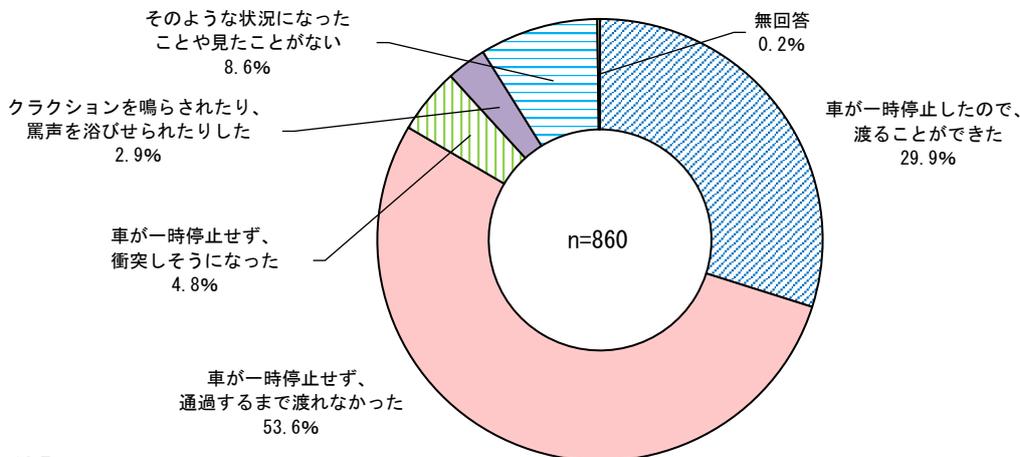


6 信号機のない横断歩道の交通安全について

問1 信号機のない横断歩道を歩いて渡ろうとしているときに車が来て、次の状況になったことや見たことはありますか。次の中から1つだけお選びください。



【全体】

「車が一時停止せず、通過するまで渡れなかった」(53.6%)と答えた方の割合が最も高く、次いで「車が一時停止したので、渡ることができた」(29.9%)、「そのような状況になったことや見たことがない」(8.6%)の順となっている。

【圏域別】

「車が一時停止せず、通過するまで渡れなかった」については、道北連携地域(56.5%)が最も割合が高く、次いで道央広域連携地域(54.9%)となっている。「車が一時停止したので、渡ることができた」については、釧路・根室連携地域(39.1%)が最も割合が高く、次いで十勝連携地域(38.3%)となっている。

【人口規模別】

「車が一時停止せず、通過するまで渡れなかった」については、人口10万人未満の市(58.7%)が最も割合が高く、次いで町村部(55.7%)となっている。「車が一時停止したので、渡ることができた」については、町村部(32.9%)が最も割合が高く、次いで人口10万人以上の市(30.3%)となっている。

【性別】

「車が一時停止せず、通過するまで渡れなかった」については、男性58.1%、女性49.7%となっており、「車が一時停止したので、渡ることができた」については、男性26.9%、女性32.6%となっている。

【年代別】

「車が一時停止せず、通過するまで渡れなかった」については、70歳以上(57.4%)が最も割合が高く、次いで40～49歳(54.6%)となっている。「車が一時停止したので、渡ることができた」については、50～59歳(32.1%)が最も割合が高く、次いで40～49歳(30.9%)となっている。

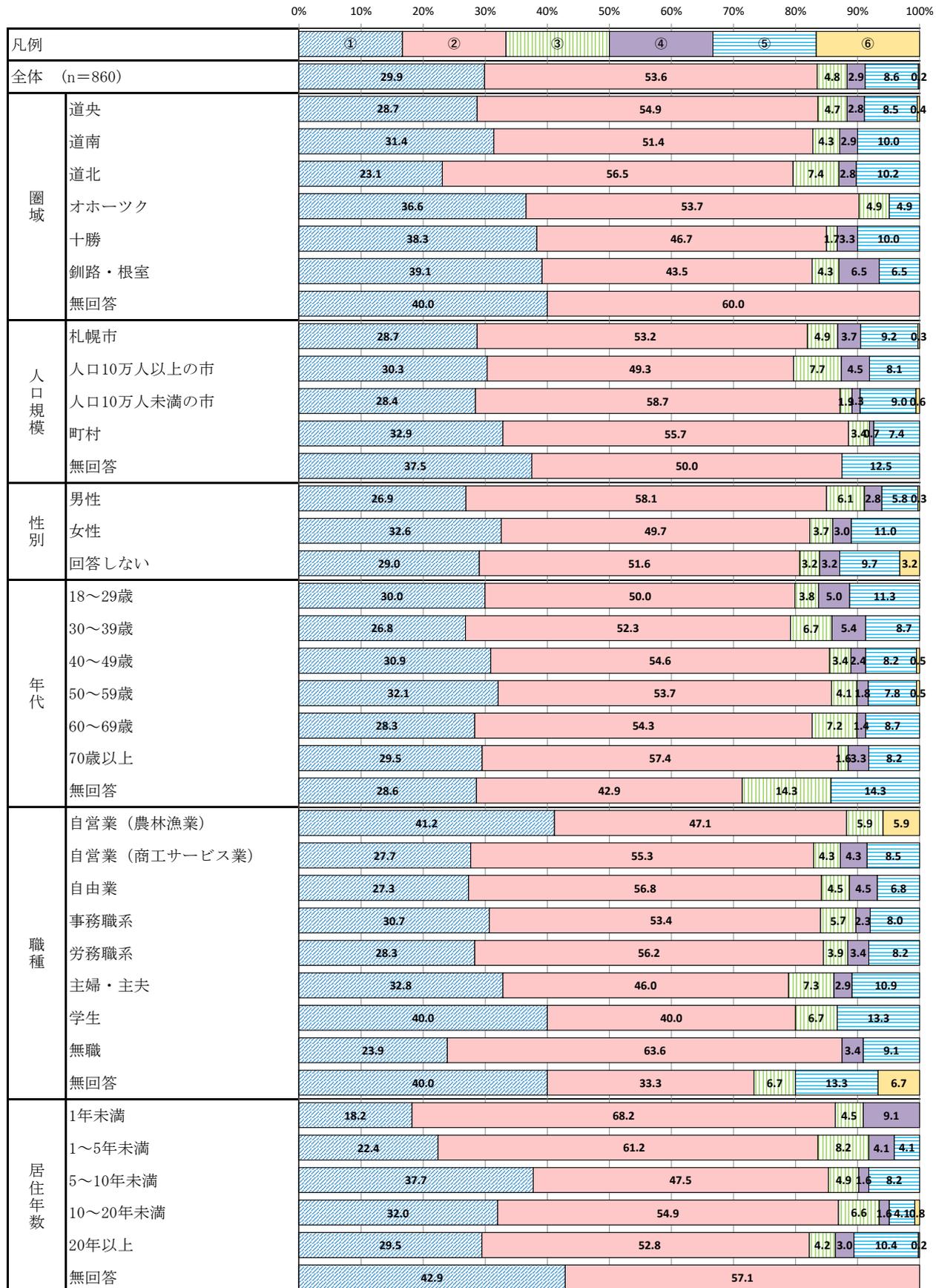
【職種別】

「車が一時停止せず、通過するまで渡れなかった」については、無職(63.6%)が最も割合が高く、次いで自由業(56.8%)となっている。「車が一時停止したので、渡ることができた」については、主婦・主夫(32.8%)が最も割合が高く、次いで事務職系(30.7%)となっている。

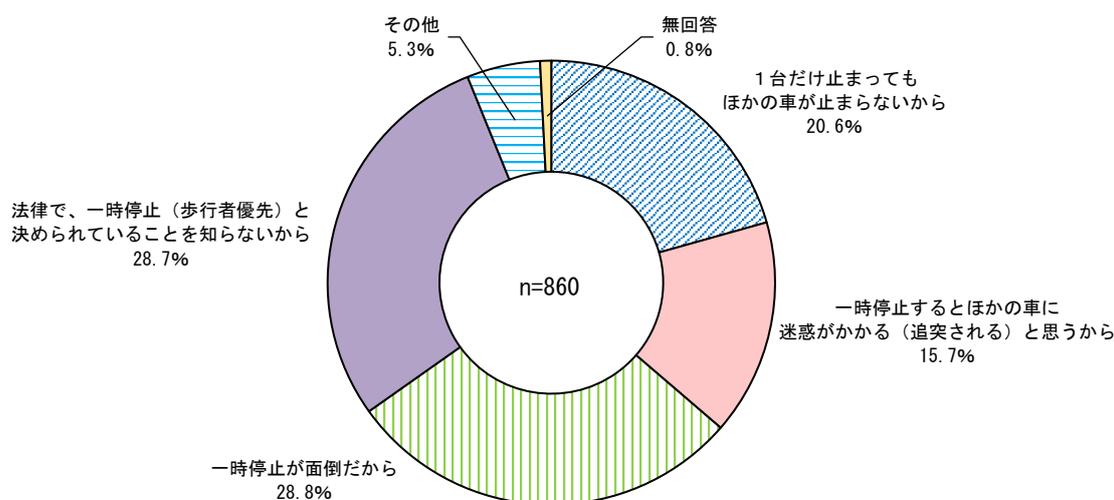
【居住年数別】

「車が一時停止せず、通過するまで渡れなかった」については、1年未満(68.2%)が最も割合が高く、次いで1～5年未満(61.2%)となっている。「車が一時停止したので、渡ることができた」については、5～10年未満(37.7%)が最も割合が高く、次いで10～20年未満(32.0%)となっている。

- ①車が一時停止したので、渡ることができた
 ②車が一時停止せず、通過するまで渡れなかった
 ③車が一時停止せず、衝突しそうになった
 ④クラクションを鳴らされたり、罵声を浴びせられたりした
 ⑤そのような状況になったことや見たことがない
 ⑥無回答



問2 信号機のない横断歩道を渡ろうとする歩行者がいるのに、車が一時停止しない理由として何が考えられますか。次の中から1つだけお選びください。



【全体】

「一時停止が面倒だから」（28.8%）と答えた方の割合が最も高く、次いで「法律で、一時停止（歩行者優先）と決められていることを知らないから」（28.7%）、「1台だけ止まってもほかの車が止まらないから」（20.6%）の順となっている。

【圏域別】

「一時停止が面倒だから」については、釧路・根室連携地域（32.6%）が最も割合が高く、次いで道南連携地域（31.4%）となっている。「法律で、一時停止（歩行者優先）と決められていることを知らないから」については、道南連携地域（38.6%）が最も割合が高く、次いで道北連携地域（36.1%）となっている。

【人口規模別】

「一時停止が面倒だから」については、札幌市（31.2%）が最も割合が高く、次いで人口10万人以上の市（28.5%）となっている。「法律で、一時停止（歩行者優先）と決められていることを知らないから」については、人口10万人以上の市（32.1%）が最も割合が高く、次いで札幌市（29.7%）となっている。

【性別】

「一時停止が面倒だから」については、男性26.6%、女性30.3%となっており、「法律で、一時停止（歩行者優先）と決められていることを知らないから」については、男性27.7%、女性30.3%となっている。

【年代別】

「一時停止が面倒だから」については、18～29歳（40.0%）が最も割合が高く、次いで60～69歳（38.4%）となっている。「法律で、一時停止（歩行者優先）と決められていることを知らないから」については、40～49歳（35.7%）が最も割合が高く、次いで50～59歳（31.2%）となっている。

【職種別】

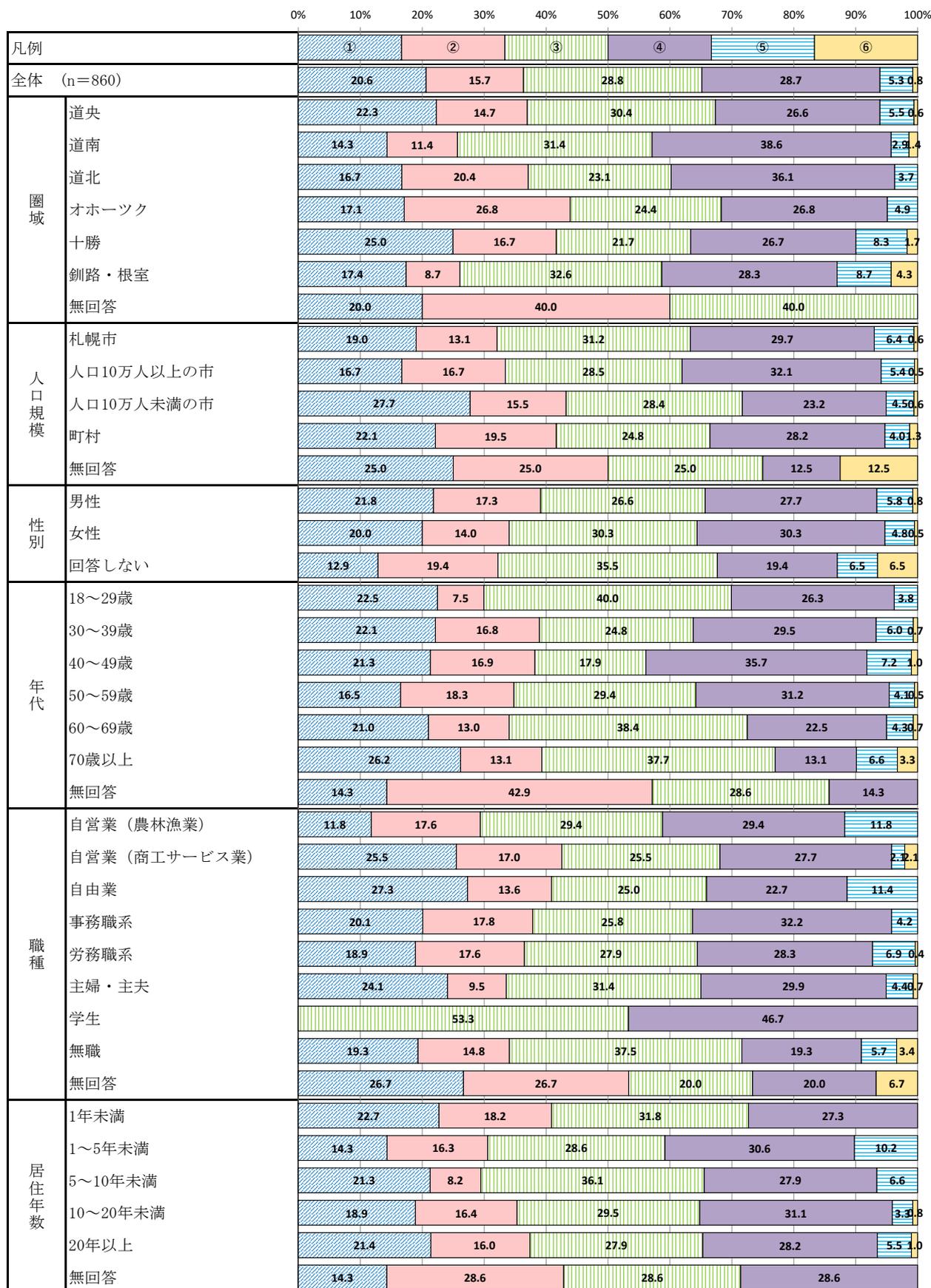
「一時停止が面倒だから」については、無職（37.5%）が最も割合が高く、次いで主婦・主夫（31.4%）となっている。「法律で、一時停止（歩行者優先）と決められていることを知らないから」については、事務職系（32.2%）が最も割合が高く、次いで主婦・主夫（29.9%）となっている。

【居住年数別】

「一時停止が面倒だから」については、5～10年未満（36.1%）が最も割合が高く、次いで1年未満（31.8%）となっている。「法律で、一時停止（歩行者優先）と決められていることを知らないから」については、10～20年未満（31.1%）が最も割合が高く、次いで1～5年未満（30.6%）となっている。

- ① 1台だけ止まってもほかの車が止まらないから
- ③ 一時停止が面倒だから
- ⑤ その他

- ② 一時停止するとほかの車に迷惑がかかる（追突される）と思うから
- ④ 法律で、一時停止（歩行者優先）と決められていることを知らないから
- ⑥ 無回答



「信号機のない横断歩道の交通安全について」の調査を終えて

信号機のない横断歩道を歩いて渡ろうとしているときに車が来たときの状況については、「車が一時停止せず、通過するまで渡れなかった」との回答が5割を超え、「車が一時停止したので、渡ることができた」との回答が約3割となっている。

信号機のない横断歩道を渡ろうとする歩行者がいるのに、車が一時停止しない理由として考えられることについては、「一時停止が面倒だから」との回答の割合が最も高く、次いで「法律で、一時停止（歩行者優先）と決められていることを知らないから」、「1台だけ止まってもほかの車が止まらないから」の順となっている。

今回の調査結果は、圏域別、人口規模別等いずれの分類においてもおおむね同様の傾向となったことから、車両等を運転中に横断歩道に近づいたときは、横断する人がいないことが明らかな場合のほかは、その手前で停止できるように速度を落とさなければならないことや歩行者が横断しているときや横断しようとしているときは一時停止をして歩行者に道を譲らなければならないことについて、道警ホームページ、SNS等による広報啓発活動のほか、交通安全教育、交通指導取締りの実施により、広く道民への周知を図る。

（北海道警察本部交通部交通企画課）